

【地域が持つ資源について考える】

— 紀伊半島の持つ資源とは何か? —

奈良女子大学共生科学研究センター / 紀伊半島研究会 共催

日時：2017年12月16日（土）13:00-17:30（12:15開場）

場所：奈良女子大学・文学系N棟3階N302号室（近鉄奈良駅下車 徒歩10分）

参加費：無料（申込不要）

【開催趣旨】

少子高齢化時代を迎えた現在の日本では、農山漁村や地方都市の活性化に対する社会の関心がますます高くなっている。一方、奈良女子大学共生科学研究センターは、かねてから人間と自然の共生に関心を寄せ、紀伊半島とその周辺域をテストフィールドの核として、両者の共生に関わる様々な調査・研究活動をくり広げてきた。このような背景を踏まえ、今回は、紀伊半島が持つ地域資源について、生物資源、環境資源、観光資源、産業資源などさまざまな観点から考えてみることにした。そして、地域社会の持続的発展や地域活性化、環境保全なども意識しながら、紀伊半島が持つ各種資源の現状とそれにまつわる種々の課題について議論したいと考えている。

【プログラム】

開会挨拶：和田恵次（紀伊半島研究会会長）

13:10-13:20

シンポジウム趣旨説明

高田 将志（奈良女子大学人文科学系／共生科学研究センター）

13:20-14:00

「海洋生物から見た紀伊半島の特徴・資源」

中野 智之（京都大学瀬戸臨海実験所）

14:00-14:40

「多様な生物相を観光に活かす」

宇井 晋介（串本町観光協会事務局長）

14:40-15:00 休憩

15:00-15:40

「和歌山県におけるインバウンド誘致について ～「Visit Wakayama」の取組み～」

後藤 暢子（和歌山県商工観光労働部観光局観光交流課）

15:40-16:20

「熊野古道における国際観光の発展」

ニコラス・プロガノ（和歌山大学大学院観光研究科博士後期課程）

16:20-16:45

「奈良県南部地域の山村と地域資源」

寺岡 伸悟（奈良女子大学人文科学系）

16:50-17:25

総合討論「地域が持つ資源について考える」

閉会挨拶：保 智己（奈良女子大学共生科学研究センター長）

LANDSAT TM データは米国政府所有、
宇宙開発事業団より提供。
©奈良女子大学理学部情報科学科陸域G

問合先：奈良女子大学共生科学研究センター（tel:0742-20-0000）

紀伊半島研究会事務局 高田 将志

(takada(@マーク)cc.nara-wu.ac.jp)

なお、シンポジウム終了後の18:00-20:00に、文学系S棟1階S122号室にて懇親会を開催します。参加希望の方は事前に高田までお申込みください。

（懇親会費：一般3,000円、学生1,000円）